

Read Book if You Change

いざ、自分を変えるために本を読むぞ！

と思っても

面白くないし、読むのが大変でめんどくさいですよね？

でも、これを読めば

そんなあなたもきっと本が好きになる！

はずです。

たぶん。

いや、なってください！

## なぜ人は本を読むのか？

---

まず、本(名詞)の定義を確認してみましょう

- 1 書物。書籍。「一を読む」「一の虫」「美術の一」
- 2 台本。脚本。「一読み」
- 3 模範とすべきもの。手本。「手習いの一とする」「行儀作法の一になる」
- 4 もととなるもの。主となるもの。根本。また、本分。「学業を一とする」
- 5 本当であること。真実。

これらから本には、雑誌や漫画、台本、小説、文庫など様々なモノが含まれています。

また、手本、根本、本当という意味もあることからやはり本は何かを「学ぶ」ためにあるのだと私は思います。

一概に「学ぶ」といっても堅苦しい勉強のことを言っているだけではありません。

例えば、漫画や小説では読むことにとって、想像力を養うことができます。

このように結論として、なぜ人は本を読むのかを4つにまとめてみました

まず最初は

### 1. 想像力を養うため

大学生以下を対象にした調査によると(同志社だけじゃないよ)

「嫌いな人」のダントツは「自己中心的な人」だそうです。

自己中心的な人というのは、相手の気持ちを分からない「想像力の欠如した人」のこと。

こういう人は、決まって本を読んでいないみたいで。

想像力は、読書によって養われます。

人に嫌われないためにも、本は読んだ方が良いと私は断言します。

次に

## 2. ストレスを発散しやすくするため

最近の大学生(同志社だけじゃないよ)は  
ボキャブラリーが極端に減っているという調査がありました。

例えば、

「うざい」、「きもい」、「ハズい」、「よくなくない」とか言う単語。  
実はこれは、本人が気づかないうちに多大なストレスを貯めている。

人間の感情はもっと複雑なので、そういった繊細な想いを表現できる手段がないとストレスが貯まり、ついには、「キレル」ということらしい。

本を読んでボキャブラリーを増やすと、言いたいことが表現しやすくなり、生きることが楽しくなります。

## 3. 文脈を読む力を養うため

「お前、頭悪いな」と言われて、「あっ、頭悪いって言ったな、お前の方がバカだ、俺の方が頭が良いんだ！」

と興奮して言い返す人がいるが、そんな人は本を読んでいない。  
大人でこんな人はなかなかいないが

まず、「お前、頭悪いな」の前に、「～だから、」という文脈があるはずで、それが読めていない。

つまり、議論の本質が読めず、言葉尻に反応してしまう。

本質を読む力を養うためにも、本は読んだ方が良い。

最後に

## 4. 将来の不安をなくすため

これは現在24歳の私がとても実感していることなのですが、  
本は将来の不安をなくしてくれます。

なぜかという、人生の大事なことがすべて本に書いてあるからです。  
基本的に私たちが経験することは、先人たちの知恵によって、ほとんどは解決されます。

例えば、

ギターを弾きたければ、ギターのコードの雑誌を買えば良い。  
家を買いたければ、不動産、住宅ローンの本を読めば良い。  
人間関係で悩んでいるならば、心理学、上司の考え方の本を読んでください。

かならずどこかに答えがあるはずですよ。

そもそも、不安というのは、「どうなるかわからない」  
という気持ちから生まれるものです。

前もって、このような情報を持っていれば、将来の不安も減るはずですよ

また、本を読めば、価値観の幅が広がります。

例えば

起業やフリーエージェントという考え方があれば、リストラされて仕事がなくなったり、就職活動に失敗しても、いくらでも稼げる方法はあるとわかります。

死について、不安であれば、先人たちの書を読んでください

[北野武](#)さんは、死ぬことは楽しみだと言っています

なぜなら、「死んだらどうなるかという最大の謎が解けるから」だそうです。

[堀江貴文](#)さんは、

「死はとても怖い、だから、死ぬ前にやりたいことは何でもやる。やりたくないことで人生を無駄にしたくない」

と言っています。

このような言葉を聞いたら、価値観の幅が広がりますか？

だらだら人生を過ごすのがもったいなくないですか？

もちろん、[『書を捨てよ町へ出よう』](#)という言葉があるように、本だけ読んでいてもダメだと思えますが

[千田琢哉](#)の言葉を借りれば、「本を読め。読みまくれ。必ず自分に返ってくるから。」です。

みなさん、一緒に本を読みましょう！

## 本は必ず読む必要があるか？

---

私はそんなことはないと思います。

近年、若者の本離れが叫ばれていますが、嫌々、本を読んだところで身に付く知識も量り知れているでしょう。

活字はちょっと苦手な方は、漫画を読んでみることをお勧めします。

漫画なんて読んでも、自分のためにならないだろ！

と思うかもしれませんが、漫画だって立派な本です。

学べることも多いと思います。

例えば、もっと簡単な例として「ウサギとカメ」という絵本の話をしてします。

みなさんはたぶんこの話を知っていると思いますが

ウサギとカメが山の頂上まで競争するお話です。

ウサギの目的は、カメに勝つことでした

なのでカメがなかなか来なかったのも、途中で寝てしまいました。

でもカメの目的は、ゴールすることだったので、ウサギに構わずゴールすることができました。

みなさん何か心に引っかかるものはありませんでしたか？

簡単な絵本の中にもこのようなメッセージ性があるのです。

それは漫画であってもです。

ソラニンを書いた[浅野いにお](#)さんは

自分がああだこうだ言っても人はあまり聞く耳をもたない。だから、漫画のキャラクターにメッセージを乗せて読者に伝えている。

と答えています。

さらには、[亀田潤一郎](#)さんは

漫画「三国志」を読み、サラ金業者が来てもそのキャラクターになりきることで追い返すことができた。

と答えています。

このように漫画を読んでも、どこかに役立つことがあります。

また、漫画に出てくる良いフレーズは、あなたの人生のおおいな励みになるでしょう。

では、小説はどうでしょうか？

[堀江貴文](#)さんは「時間がかかるわりに得られるものが少ない」と言っています。

[ナポレオン・ヒル](#)さんは「小説は一時的な熱意にしかない」と言っています。

しかし

石田健さんは「今の時代、小説で感性を得てツイッターなどでアウトプットせよ」とはっきり言って賛否両論です。

私はというと、小説は最近は全然読んでいません

私のなかで小説はあくまで娯楽であり、小説の中のキャラクターに感情移入し、その体験を共感するものだと思っています。

私の読書は、探究心と好奇心で成り立っています。

結論として

私は小説はとても面白いものと知っているので、小説が好きな人はどんどん読んでください。そして、感性豊かな心を持ち、多くの人を幸せにしてください。

最後に、分厚くて難しい自己啓発本やビジネス書についてです。

私は「自分を変えたい！」「年収を上げたい！」などと思っている人は自然と手に取っていると思います。

そうでない人は、現状に満足しているのではないのでしょうか？

そんなことはない！

とおっしゃる方もいるかもしれませんが

例えば、大学入試に受かりたいと思えば、参考書を読むでしょう。

これと同様に、何かを行う時、本はとても勉強になります。

社長になりたいというのなら、そのマインドを勉強するでしょう。

もちろん直接多くの社長と会って、マインドを得るなら必要ないかもしれませんが、そんなことはなかなかできません。

はっきり言います。

自分の将来のビジョンにマッチするビジネス書と自己啓発本を読むことをお勧めします。



でも、活字が多いのはちょっと・・・て人でも大丈夫。

[「チーズはどこへ消えた？」](#)なんかは小学生でも読めるレベルです。

まずは、そういうところから始めてみてはどうでしょうか？

## 速読は必要か？

---

速読は必要ありません。

私は高校の時、速読ができれば、もっと多くの情報がすぐ手に入るのに・・・  
と考えていました。

でも、本は「速く読むことよりも、そこからどのくらい情報を得ることができるか」  
だと思います。  
要するに、情報の濃さです。

速くペラペラ読んで、内容がしっかりと頭に入るとは思いますか？

大学で講義のノートを取らずに、黒板だけ見て理解し、期末テスト前に勉強せずにいい点を取る  
人がいましたが、  
はっきり言って、これはやはり天才ではないとできないのではないかと思います。

私のような凡人では、ゆっくり読んで内容をしっかりと理解することが、新の速読だと考えてい  
ます。

そんなこと、山田が言っている俺は速く読みたいんだ。  
という人もいるかもしれません。

大丈夫です。

先ほど、ゆっくり内容を理解すると言いましたが  
今私は高校とは比べ物にならないくらい速く本を読めるようになりました。

それはなぜか？私は三つ考えました

### 1. たくさん本を読むことで自然と速くなった

これは要は活字に対する慣れなのだと思います。  
読みたい本をがむしゃらに読んでいると自分でも驚くくらい速く読めるようになりました。

どのくらい読めば、速くなるの？

という私の場合はだいたい50冊くらい読んだあたりから、実感し始めました。  
50冊は多いかもしれませんが、ゆっくりで良いのであせらず本を読んでください。

## 2. 完璧主義をやめた

本を読むとき、あなたは最初から一字一句しっかり読んでいませんか？  
これは真面目な人が陥りやすいトラップです。

かという私もこのトラップにはまっていた一人です。  
しかし、この完璧主義をやめると気が楽になり、読書が楽しくなり、また劇的に本を読む速度が速くなります。

まず、小説についてですが、  
小説ならその世界にのめり込むために、一字一句読むのはわかります。  
でも、軽く小説を読みたい方は風景描写などは斜め読み程度で良いと思います。  
風景描写と言うモノは、著者によって書き方が様々で面白いですが  
内容は、長い文章のわりに、電車が通り過ぎた。とか目的地まで行った。とかです。

また、小説は登場人物の会話だけを読んでいても実は、内容は理解できてしまいます。  
ここではあえて、例は出ませんが、一度試してみてください。

次に、ビジネス書と自己啓発本  
この本たちは、何のためにあるのかを考えてみてください。

あなたの役に立つためにあるのです。

つまり、あなたの役に立ちそうな部分だけ読めば良いのです。

でも、全部読んでみないと、大切な文章を見逃してしまうのでは？

この点に関しては、私の例で言うと  
たくさん本を読み進めていくと、同じようなことが書かれている文章にいくつも遭遇します。  
そのときは、斜め読みしてスルーします。  
でも、見たこともない文章に遭遇すると、自然と「これは面白そうだ」と読んでしまうと思うのです。

人間は興味のないモノには手を出しにくくなっています。

そこを無理して読むと、本が嫌いになり、悪循環に陥ってしまいます。

なので、ビジネス書と自己啓発本は「面白そうだ」「これはためになりそうだ」というところだけ読んでくれてかまいません。

### 3. 場所と時間にこだわってみる

なんだかんだ言って、お気に入りの場所で本を読むと気持ちが良いです。

そして、落ち着いているので、内容がずっと入ってきて、時間がたつのを忘れてしまいます。

私は大学生のころ、スターバックスで本を読んでいる人は、本を読んでいる自分に酔っているだけだと思っていました。

しかし、そうではないと自分がお気に入りのカフェで本を読んだときに気づきました。

時間に関しても、朝や夜の定期的な時間帯に本を読むと心が落ち着いて、本に集中できます。

夜は特に、お風呂上りにお茶を飲みながらゆっくり本を読むことが私は好きです。

朝は、学生時代は午後から学校に行ってもよかったので、それまで、コメダ珈琲でランチを食べながらコーヒーを飲みつつ、本を読むのが好きでした。

### 結論として

本を速く読む必要はなく、それよりもむしろ、無理矢理、本を読もうとせず、気が向いたときに好きな場所で好きなように読むことが自然と本を速く読むことに繋がると私は思います。

## 最初に読むべき本は？

---

いざ、本を読もう！と思っても一体どんな本を読めば良いかわからない。  
また、活字が苦手なので、読みやすい本がいいなあ。

という人のために、私が最初にぜひこれを読んでほしい！  
という本を選びました。

まず最初に読んでほしい本はこれ。

### 1. 人生で大切なことは、すべて「書店」で買える。

この本は読みやすく、本を読むことがいかに大切かを教えてくれます  
特に最初の一言である  
「断言します。本を読んだ量と年収は比例します。」  
が印象的でした。

本を読むことに抵抗がない人は、読む必要がないかもしれません。

次に読んでほしい本はこちら

### 2. 金持ち父さん貧乏父さん

この本は、みなさんのお金の価値観を変えてくれます。  
例えば、高校を卒業して、大学に進学し、企業に就職する。  
または、結婚して、車を購入して、子供が生まれ、家を購入する。

このようなことが普通を思っている人は必ず読んだ方が良いでしょう。  
しかも、この本は分厚いけど読みやすいので、二番目に読む本としては最適であると思います。

最後に読んでほしい本はこちら

### 3. 人を動かす

デール・カーネギーはいうなれば、自己啓発本の王道的存在であるが  
やはり、王道にふさわしい言葉たちがつづられています。  
また、例文が多く書かれているので、読んでいて飽きることはなく、読みやすい本だと思います

。

この本は、人間の心に関する基本的な考えが書かれており  
読んだ後は、人間的に成長していること間違いなしです。

以上で読んでほしい本の紹介は終わります。

ちょっと、山田さん、読むべき本少なすぎませんか？

と思われそうですが

この三冊を読めば、必ず読書をする人物になれると思っていますので

あとは、自分でいろんな本に出会い、運命の一冊に出会えることを期待しています。

また、今回は自己啓発本だけの紹介になってしまいましたが

小説に関しては、個人差が激しいのであえて、紹介はできません。

あえて、言うなれば、売れている作家の作品はやはり面白いです。

また、作風は著者によって大きく異なるため

気に行った作品が見つければ、その著者の作品をたくさん読んでみれば

読書が楽しくなること間違いなしです。

## 本を読む前に

---

本はあなたの価値観を広げます。  
それはとてつもない大きな冒険であったり、ゆっくりとした散歩のようなものです。

そこで、そのような体験するにあたって、前準備をしておかないと  
それらはとてもつまらないものになってしまいます。

実際に、高校生だったときの私も前準備が足りず、本をつまらないものと感じました。

さて、それでは今からその前準備を行います！

えっ？今から？そんな心の準備が...

って人も大丈夫。  
何も激しい運動をしたり、難しい考えを吸収するわけではありません。

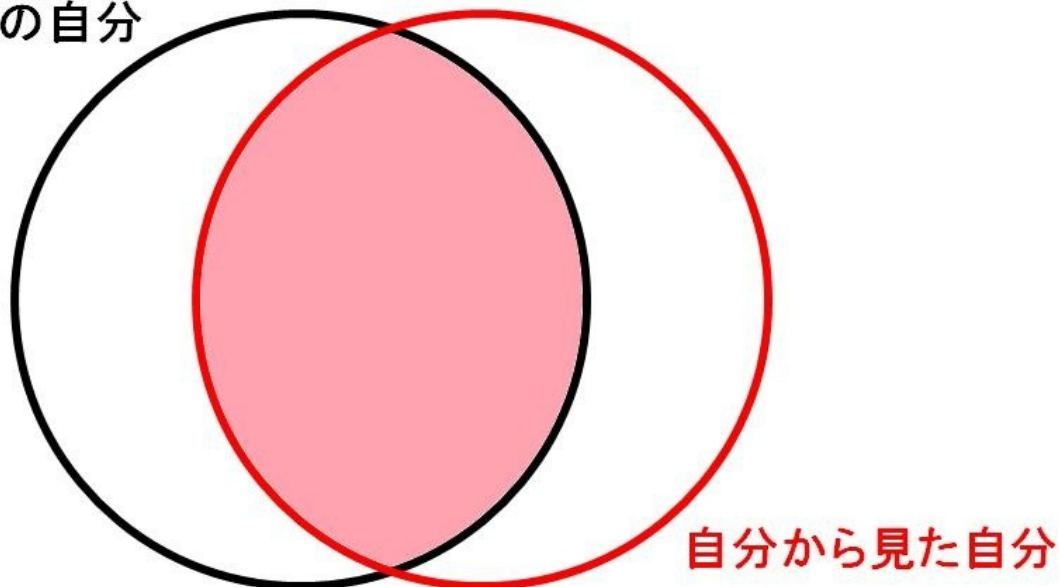
ではまいります。

自分という考え

まず、あなたは自分についてどれくらい知っていますか？  
多くの人は、だいたい知ってるけど、完全には知らない  
と答えるかと思います。

とりあえずここでは、下図を見てください。

## 本来の自分



右図には「本来の自分」と「自分が思う自分」という円があります。

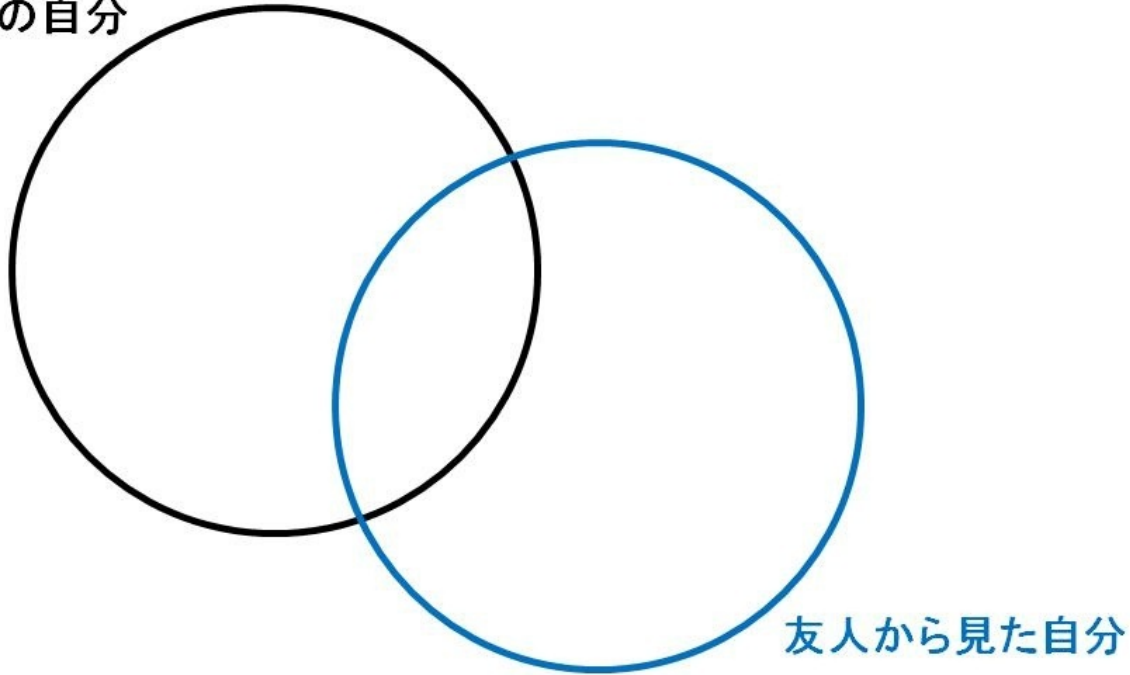
この円の中身は、その人の価値観であったり、知識であったりします。  
まあ円の領域はあなたの知っている領域と考えてくれれば、簡単です。

ここでポイントとなることは、  
あなた自身はあなたのことを円の重なり部分しか知らないということです。

他人に言われて、初めて自分はこうだったのかと気付かされたり  
私って、こんな特技があったのね

と思うのはこのためです。

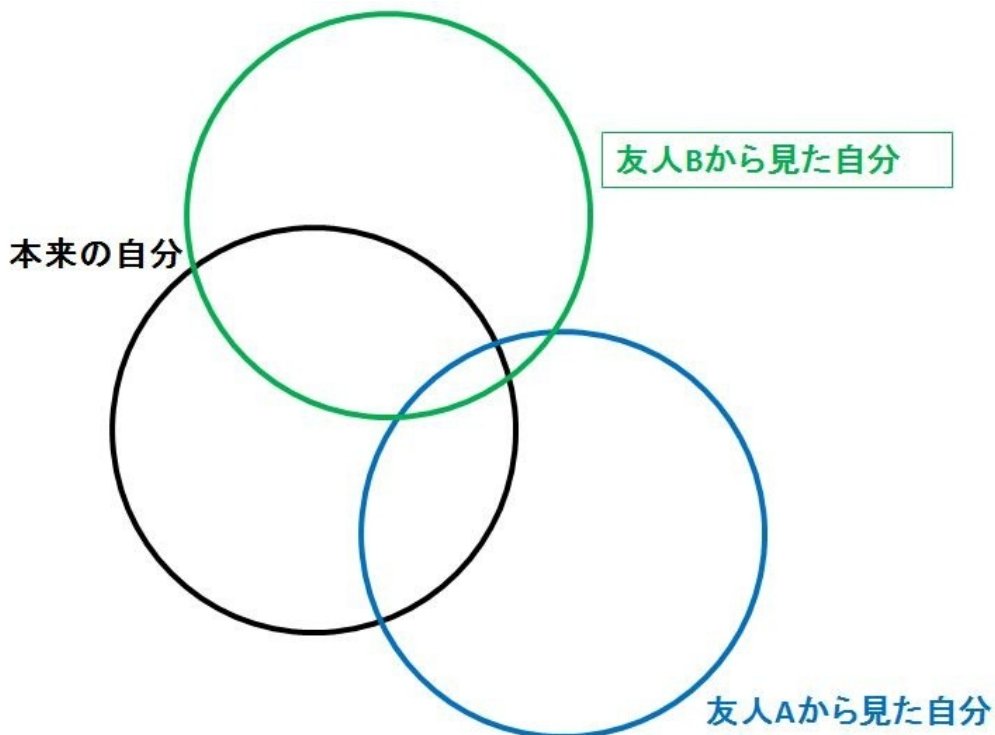
## 本来の自分



次に「友人から見たあなた」のパラダイムを見てみます。

見ている領域は、「自分から見た自分」より重なり部分が小さくなっていると思います。

ここでは、  
あなたの友人はあなたのことを少ししか知らないということです。



今度は「友人Bから見たあなた」の円を見てみます。

友人Bの領域は友人Aとは違う領域に重なりがあります。

この場合は、友人Aと友人Bが「自分」について話をするとき、3つの領域の重なり部分しか価値観が一致しません。

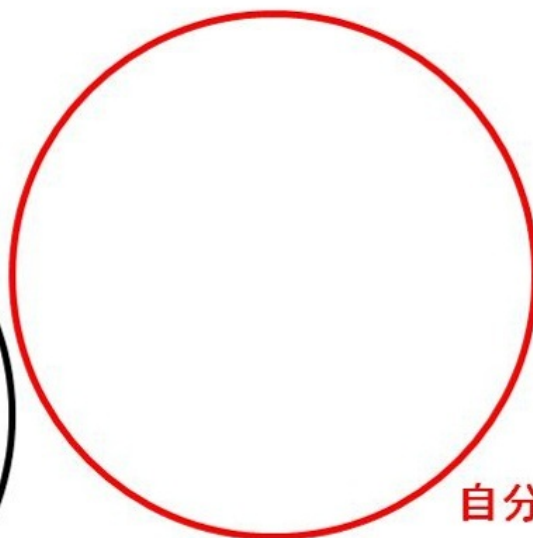
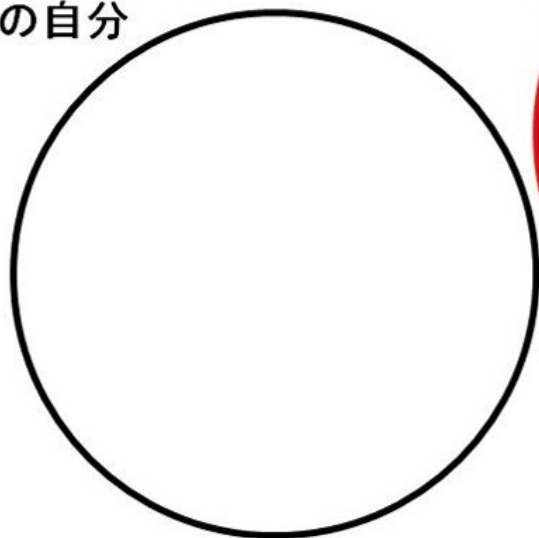
ここで大事なことは、「友人Aから見たあなた」と「友人Bから見たあなた」はそれぞれ違うということです。



また、最初の図のように「本来の自分」と「自分が考えてる自分」も違います。

つまり、ここで言いたいのは  
自分のこともちゃんと知らないのに、他人のことなんて知ることができるわけがないということです。

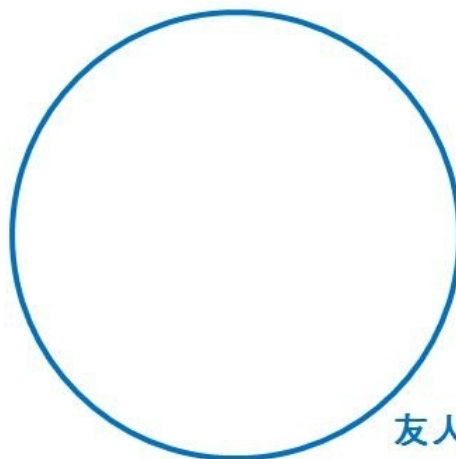
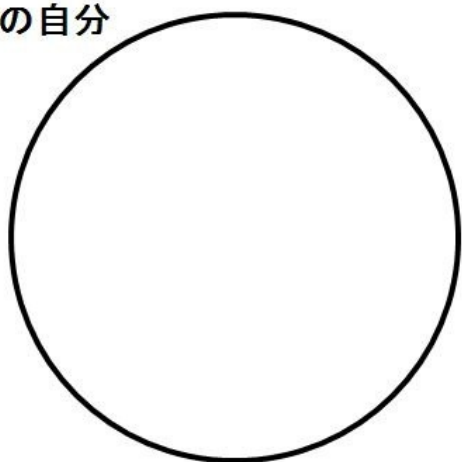
本来の自分



自分から見た自分

また、最初の図ならまだしも、このように自分のことが全くわからない人だっています。

本来の自分

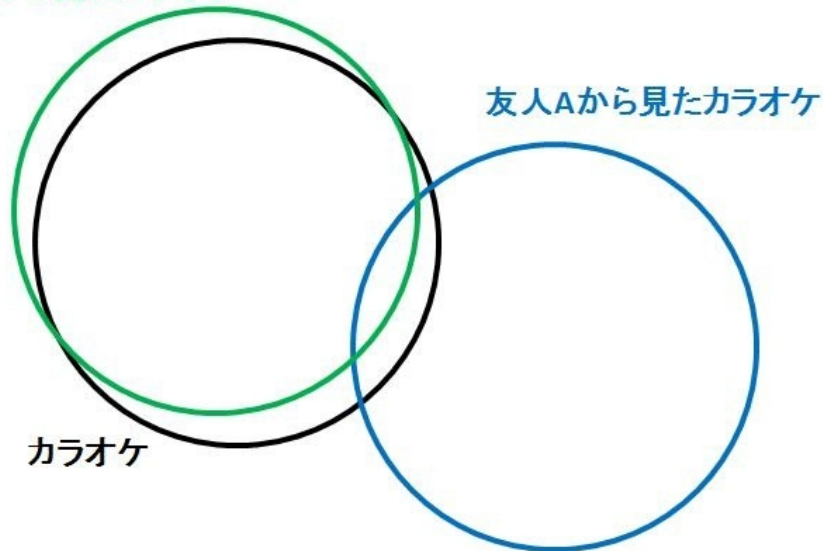


友人から見た自分

本来の自分を全く違う解釈で見ている友人もいるわけです。

今度は、もっとわかりやすい例として、カラオケについて考えてみます。

## 友人Bから見たカラオケ



ここでは

友人Aはカラオケは楽しくないと言っていて、友人Bはカラオケがとっても好きだとします。

友人Aは歌が下手なためカラオケが楽しくない。だから、嫌いだと言っています。

ここで図を見てみると、友人Aのカラオケに対する解釈はとても小さいです。

次に、友人Bについてですが、友人Bも実は歌が下手です。しかし、カラオケが好きだと言っています。

なぜなら、友人Bはカラオケが下手でも楽しい遊び方を知っているからです。

ここで友人Bのパラダイムを見てみると、友人Bは友人Aよりカラオケを知っている領域が大きくカラオケの見方も違ってきます。

つまり、見方や理解の度合い、考え方でカラオケというものは全く違うモノになりえるということです。

これは、人間についても同様で

例えば、野球のイチロー選手は打率が高く、メジャーでも活躍している素晴らしい選手です。

しかし、ほとんどの人がテレビで活躍しているイチロー選手しかしらず  
その努力や私生活は全く知りません

なのでイチロー選手と私たちの考えの重なりはとても小さく

「イチロー選手が思うイチロー選手」と「私たちが思うイチロー選手」はほとんど違うモノになりえるということです。

私はこの考え方を高校の国語の先生から教わりました。

国語の先生らしい素晴らしい考え方ですね。

このように人間は自分が思っている以上にものごとを知りません。

また、自分本位の価値観をもっていることを理解してもらいたいです。

私は、以前に「[7つの習慣](#)」という本を読み

そこに、価値観の面白い例を見つけたので引用させていただきます。

#### 価値観の違いの例

乗客は皆、静かに座っていた。ある人は新聞を読み、ある人は思索にふけり、またある人は目を閉じて休んでいた。

すべては落ち着いて平和な雰囲気であった。

そこに、一人の男性が子供たちを連れて車両に乗り込んできた。すぐに子供たちがうるさく騒ぎ出し、それまでの静かな雰囲気は一瞬にして壊されてしまった。

しかし、その男性は私の隣に座って、目を閉じたまま、周りの状況に全く気がつかない様子だった。

子供たちはといえば、大声を出したり、モノを投げたり、人の新聞まで奪い取ったりするありさまで、なんとも騒々しく気に障るものだった。

ところが、隣に座っている男性はそれに対して何もしようとはしなかった。

私は、いらだちを覚えずにはいられなかった。子供たちにそういう行動をさせておきながら注意もせず、何の責任も取ろうとはしない彼の態度が信じられなかった。

周りの人たちもイライラしているように見えた。

私は耐えられなくなり、彼に向かって非常に控えめに「あなたのお子さんたちがみなさんの迷惑になっているようですよ。もう少し大人しくさせることはできないのでしょうか」と言ってみました。

彼は目を開けると、まるで初めてその様子に気が付いたかのような表情になり、柔らかい、物静かな声でこう返事をした。

「ああ、本当にそうですね。どうかしないと…。たった今、病院から出てきたところなんです。一時間ほど前に妻が…、あの子たちの母親が亡くなったんですから、いったいどうすればいいのか…。子供たちも混乱しているみたいで…」

その瞬間の私の気持ちが、想像できるだろうか。

私の価値観は一瞬にして転換してしまった。

突然、その状況を全く違う目で見ることができた。

違って見えたから違って考え、違って感じ、そして、違って行動した。

今までのイライラした気持ちは一瞬にして消え去った。自分の取っていた行動や態度を無理に抑える必要はなくなった。

「何か私にできることはないでしょうか」

一瞬にして、すべてが変わった。 [—「7つの習慣」の引用—](#)

このように、価値観は一瞬に変わることもあれば、長期的に変わることもあります。

例にあるように、私たちは他人のことを自分の価値観に置き換えてものごとを見がちです。

しかし、私たちは世界をあるがままに見ているのではなく、私たちのあるがままに世界を見ているのです。

ものごとを説明しようとする、それは結果的に自分自身、自分の近く、自分の価値観を説明しているにすぎないのです。

そして、自分の意見に相手が賛成しないとなれば、すぐその人が間違っていると思ってしまう。

これでは読書をしていても、自分を変えることはできません。

そこで、どうしなければならないかという

自分自身の根本的な価値観、人格、動機などを変えなければなりません。

この考えをインサイド・アウトといいます。これは人間関係にもあてはまります。

相手を変えるには自分を変えたほうが手っ取り早いのです。

読書も同じで、本を読むときは自分を変えてください。

柔軟な思考で読書をしてください。

本を読んでいて

「ここは違うだろう」

と否定をしないでください。

著者たちの考えは多種多様です。

本を読む前に、こうした自分の根本的な考えは取り払って読書をしてみましょう！

## 本を読んで行動できない理由

---

たくさんの方が、本を読んでも行動に移せていません。

統計では、なんと  
行動に移せている人は2%

本を読んでいる人が少ないことを考えると  
本を読んで成功する人は、ほんの一握りだということがわかります。

では、なぜ多くの方が本を読んで行動に移せないのでしょうか？

### 1. 読んで満足してしまう。

本はとても面白いものだと僕は思っています。  
著者の人生を自分のことのように経験することができるからです。  
それ故に、面白くて、満足してしまい、行動に移せなくなるのです。

その要因として、これまで受けた学校教育の影響は少なからずあります。

私たちは、小中学生と、本を読むことは良いことと教えられてきました。  
なんてたって、本を読むだけで褒められるのですから。

でも、本を読んで行動に移さず、ああ楽しかったで終わらせてしまえば、それは娯楽。

そしたら、ゲームやってるとあんまり変わらないんじゃないかな。

僕たちはもう大人なので、本を読んで、そこから何かを得て、行動に移さなければなりません。

### 2. 本を読んで成功した実体験がない。

人は自分が心の底から納得して同意できなければ、なかなか行動を起こそうとしません。

行動に移す動機は、過去に自分が同じようなことをしてうまくいった経験があるかどうかです。

なので、行動できないを克服するためには、

やはり自分で本を読んで実際に行動し、成功体験をすることが手っ取り早いでしょう。

そのときのポイントとして、いきなり大きな成功を得ようとするのではなく、小さな成功体験を重ねることです。

例えば、僕の場合は、

仕事を効率よく進めるには、土台が必要である。

その一つに、パソコンのタイピングが早くなれば、仕事も速くなるとありました。

なので、それを実施したところ、見違えるように仕事が早くなりました。

この記事も、タイピングが遅い人と比べると、何倍も速く書けているはずですよ。

みなさんも小さな成功体験を重ねて、行動できない心を克服してください。

### 3.変化を嫌う。

本を読んで行動を起こすということは、

今までの生活ではやっていなかったことを新しく始めるということです。

そのような変化に対して、人間は本能的に拒否反応を起こすようにできています。

その理由に、変化することで、今までにない危機が訪れるかもしれないからです。

昨日の自分は身の危険を感じることなく生きていくことができました。

それなのに、下手に生活を変化させてしまえば、命を脅かす危険が起きるかもしれません。

だったら変化させず、今までと同じことをしてれば良いと本能的に思うのが人間です。

しかし、それも昔の話で、

現代のような変化の激しい時代では変化しないことの方がリスクが高いでしょう。

なので、変化することでより良い生活を手に入れることができると理解し、行動してみましょ  
う。

ここでのポイントも本の内容を少しずつ行動に変えることです。

小さな変化を積み重ねてば、行動が次の行動を呼び、徐々に大きな行動につながります。

僕もそうやって、徐々に成長していています。

# なぜ自己啓発するのか？

---

## 自己啓発とは

自分の考え方や行動に変化を加え、自分自身の能力を高める行為をいいます。

## 例えば

今日からこれをモットーにする、今日からこれをやるなど、自分に決めごとを作ることで目標を達成していき、これまでできなかったことを実現させる取り組みです。

## 1.なぜ自己啓発が必要なのか

自己啓発を始める人のほとんどは社会人になってからだと思いますが、一部の学生の間でも取り組まれています。

学生で自己啓発を行っている人のほとんどは、起業を考えている人だったり、アクティビティに自分の目標に突き進んでいる人と言えます。

自己啓発を始める理由は様々ですが、ほとんどは社会に出て様々な壁にぶつかり、これまでの能力では壁を乗り越えることができないと判断して始める人が多いようです。

たしかに社会に出ると、学生時代とちがって付き合う人の年齢層や求められる能力が大幅に変化します。

そのために仕事や人間関係に悩みが出てくるのです。

自己啓発はそうした仕事や人間関係を改善してくれる取り組みです。

それだけでなく私生活においても効果をもたらし、人間としての魅力を高めてくれます。

## 2.自己啓発の仕方

世の中には自己啓発の方法がたくさん出回っています。

主流は本です。

たまにセミナーとして受講できるものもあります。



内容はおもにビジネスに関連したものが多く、ビジネスマナーなどの基本的な内容から、経営者の心得など上級者向けの内容もあります。

中にはお金持ちになる方法、人に好かれる方法、恋愛上手になる方法、なんていう自己啓発もあります。

セミナーでは無料のものから数万円のものもあります。

熱意のある人はいきなりセミナーに行くのも良いかもしれません。

[ロバート・キヨサキさん](#)などは、必ず1年に数回行くことを決めているそうです。

私の統計では、成功者は必ず本を読むかセミナーに行っています。

つまり、必ず自己啓発を行っているということです。

さあここで

「いつ自己啓発をすればいいんだ！」 「もう私は歳を取っているから」  
と言う人がいるかもしれません。

### 3.自己啓発はいつやるのか（重要）

自己啓発はいつでも誰にでもできます。

思い立ったらすぐしましょう。

代々木ゼミナールのCMにもあったでしょう？

「いつやるのか・・・今でしょう！」

今から興味のある本をアマゾンで購入しましょう！セミナーの予約をしましょう！

## フライングの重要性

---

人間は常に何かを学んでいかないと生きていけない生物です。

例えば、キリンやシマウマなどは生まれたと同時に、立つことができ、自分で生きていく知恵を身に付けます。

しかし、人間の赤ん坊は一人では生きていきません。  
親から多くのことを学び、与えられ生きていくのです。

これは大人になっても同じです。

生きていくためには、何かを学び、それを実行することで、収入を得て、生きていけるのです。

ここで学ぶといっても、多くのことがあります。  
資格、海外旅行、スノーボード、将棋、プレゼン能力  
なんでも私は構わないと思います。

私たちには資産が二つあります。

それは経験とお金です

そして、ここで大事なことは経験を先に行うことです。  
そうすれば、お金は後から付いてきます。

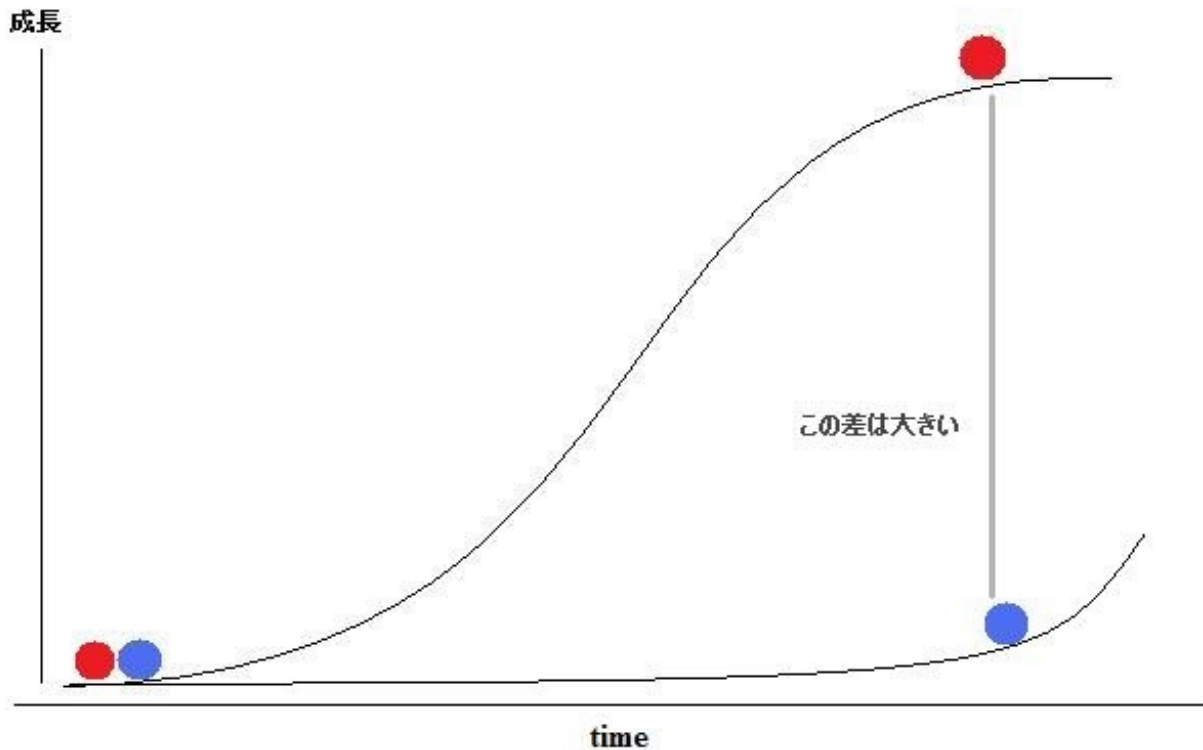
また、なにかを行うにあたって、「他人に自慢したいから」とか「なんとなくしておこう」というものはいけません。

しっかり、この先、この知識が役に立つだろうということを学んでください。

そこで、話の本題に入りますが、  
何かを学ぶ上で、「遅すぎることはない」といいますが、実際は「早過ぎた方が良い」のです。

これは「明日やろうはバカ野郎」という言葉があるように  
仕事でも何でも早過ぎた方が良いのです

それを図にして説明します。



図から

青い○の人は、勉強を始めるのが遅かった人

赤い○の人は、勉強を早く始めた人です

このように、学び始めて実行し、役に立つまでは対数関数の曲線で表せます。

そして、始めるのが早かった人と遅かった人での差は大きいのです

ここで一つ例を言いますと

最初、自転車に乗るのに、なかなかうまくいかなかった

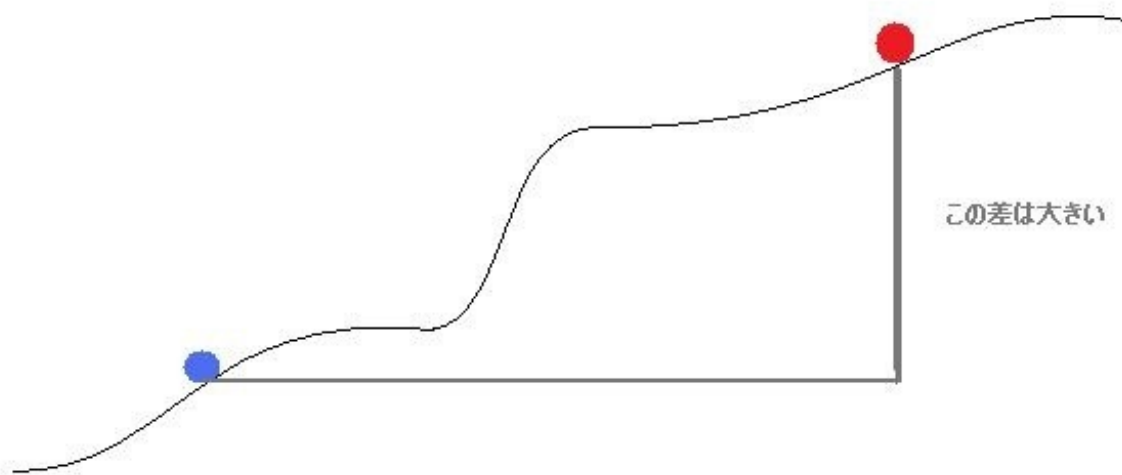
しかし、練習し続けると、徐々に乗れるようになってきて

コツをつかむと一気に乗れるようになります

この例からわかるように、乗り始めはなかなか成果がでず、苦しいです。

しかし、乗れるようになるのはその気管に比べれば一瞬です。

今度は時間をもっと伸ばして見てみましょう。



青い○の人がぐうたらしている間に、赤い丸の人はどんどん先に進みます。  
さらに、青い丸の人がスキルを手に入れている間に  
赤い丸の人はもうワンランク上をすでに目指しています。

そうするとどうでしょう。

時間を伸ばせば伸ばすほど、青い○の人と赤い○の人の間に雲泥の差が生まれます。

ここで彼らが上司などに評価されれば、どうなるかわかるでしょう。

そして、ここに年収に大きな差が生まれるわけです。

なので、勉強したいなあと思っている人は今スグに始めてください！

あなたがそうやって、いる間にもライバルたちは多くを学んでいます！

スポーツでのフライングスタートは失格だが、人生での「フライング」は違反どころか、すべての成功者が使う“常套手段”です。

作成中

---

ただいま作成中です。

変わりたいなら本を読め！

<http://ryoucoro.blog.fc2.com/>

著者：rYou

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/dtk0598/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/58732>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/58732>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ